

(別添)

ウクライナ支援に関する首脳会合 石破総理ステートメント

日本国内閣総理大臣の石破茂です。

ロシアによるウクライナ侵略開始から三年が経過した本日、ロシアによる攻撃が今なお継続していることを強く非難するとともに、侵略に立ち向かうウクライナの人々の勇敢さとその忍耐強さに改めて深い敬意を表します。本日の会合において、ウクライナへの支援について、議論が行われることは非常に有意義であり、会合を主催したウクライナのイニシアティブに敬意を表します。

ロシアによるウクライナ侵略は、国際秩序の根幹を揺るがす暴挙と言わなければなりません。そして、このような力による一方的な現状変更の試みは世界のどこであれ許されることではありません。我が国は、侵略開始以降、こうした問題意識の下で、これまで、対ウクライナ支援と対露制裁を強力に推進してまいりました。

現在、平和実現のために各国の外交努力が行われています。こうした外交努力により、長年にわたる戦闘行為が終結し、困難な状況の打開が行われることを期待しています。その上で、この侵略の終わらせ方を考えるにあたっては、あくまで当事者であるウクライナが関与する形で、公正であり、そして永続的な平和を一日も早く実現することが重要です。この目標に向かって我々は結束して取り組んでいかなければなりません。

今後も、ウクライナを支援する我が国の姿勢に揺らぎはありません。日本はウクライナの美しい大地に平和が取り戻されるよう、ウクライナとともに歩んでまいる決意であります。

(了)